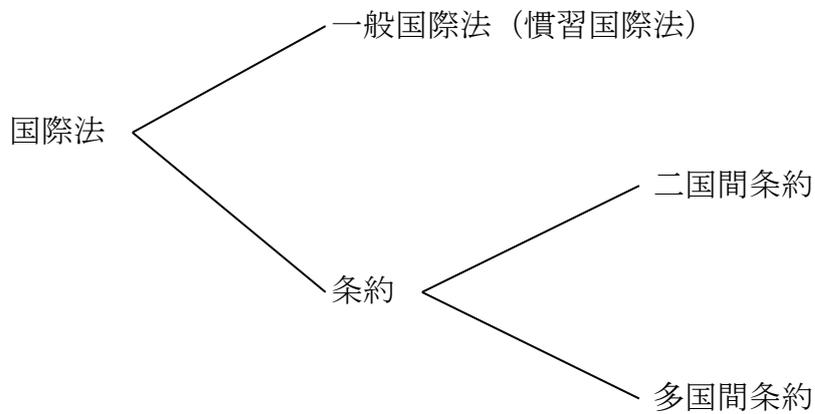


国際社会の法 I

アウトライン集 (第1回—第7回)

第1回 プロローグ：法とは何か？

- 1 はじめに
- 2 法とは何か？
- 3 法源



- 4 国際法の変化
- 5 まとめ

参考文献

- 田畑茂二郎『国際法』岩波書店
高野雄一『国際法概論』弘文堂
山本草二『国際法』有斐閣

20 年 月 日

第2回 国際社会における法と政治

- 1 はじめに
- 2 国際法の法的性質
 - (1) 否定説（国際法は法でないとする立場）
 - (2) 肯定説（国際法は法であるとする立場）
- 3 法と社会の構造
- 4 強制力
- 5 国際社会の組織化
- 6 まとめ

参考文献

田畑茂二郎『国際法』岩波書店
高野雄一『国際法概論』弘文堂
山本草二『国際法』有斐閣

20 年 月 日

第3回 法政大学は国家になれるか？

1 はじめに

2 国家承認

- (1) コソボの独立
- (2) 国家承認とは？
- (3) 国家承認の法的性質
 - ① 創設的效果説
 - ② 宣言的效果説
- (4) 国家と認められるための要件
- (5) 国家承認の方法

3 政府承認

- (1) 政府承認の法理
- (2) 政府承認の方法と効果

4 おわりに

20 年 月 日

第 12 回 戦争と平和について考えよう

- 1 はじめに
- 2 平和、戦争、そして暴力
- 3 正戦論
 - (1) キリスト教と正戦論
 - (2) グロティウスの戦争論
- 4 無差別戦争観
 - (1) 正戦論への批判
 - (2) 無差別戦争観
 - (3) 無差別戦争観への批判
- 5 国際連盟の時代：戦争の違法化
 - (1) 不戦条約
 - (2) 国際連盟規約及びその他の措置
- 6 安全保障
- 7 国際連合の時代：武力行使禁止
 - (1) 武力の行使の禁止
 - (2) 集団安全保障制度
 - (3) 冷戦体制下での国連の麻痺
- 8 平和のための結集決議と国連平和維持活動（PKO）
 - (1) 1950 年国連総会決議「平和のための結集決議」
 - (2) 1962 年国際司法裁判所（ICJ）勧告的意見

9 冷戦時代の PKO

- (1) PKO 5 原則
- (2) PKO の「6 章半」的性格

10 冷戦後の PKO

- (1) 冷戦の終結と PKO の変化
- (2) カンボジア暫定行政機構 (UNTAC)

11 まとめ

参考文献：

筒井若水『違法の戦争、合法の戦争 国際法ではどう考えるか?』朝日新聞社(2005年)

国際連合(編)『ブルーヘルメット』講談社(1986年)

川端 清隆・持田 繁『PKO 新時代：国連安保理からの証言』岩波書店(1997年)

日本平和学会『人道支援と平和構築』早稲田大学出版部(2005年)

20 年 月 日

第5回 国籍と無国籍

- 1 はじめに
- 2 国籍とその決定
- 3 国籍の得喪
- 4 国際法の機能：国籍の調整
- 5 無国籍
- 6 まとめ

参考文献

新垣修「無国籍条約と日本の国内法－その接点と隔たり」 <
<https://www.unhcr.org/jp/11226-info-150521.html>>

第6回 人道支援と法：救済と正義のジレンマ

- 1 はじめに
- 2 国際赤十字の誕生
 - (1) ソルフェリーノの戦いとデュナン
 - (2) 戦場にも博愛を
 - (3) 創設
- 3 その後のデュナン
 - (1) 排除：敗訴と確執
 - (2) デュナンの「再発見」
 - (3) 第1回ノーベル平和賞受賞
- 4 人道支援とは何か？
- 5 人道支援のジレンマ
 - (1) 国際赤十字委員会：人道支援における中立・公正
 - (2) 国境なき医師団からの挑戦
- 6 おわりに

参考文献

アンリー・デュナン（木内利三郎・訳）『赤十字の誕生：ソルフェリーノの思い出』白水社（1959年）

エーテル・コッハー・ハンス・アマン（九頭見和夫・訳）『赤十字の父：アンリー・デュナン』春風社（2005年）

第7回 ルワンダとジェノサイド

ルワンダ略史

年月	略史
17世紀	ルワンダ王国建国
1890年	ドイツ保護領（第一次大戦後はベルギーの信託統治領）
1961年	王政に関する国民投票（共和制樹立を承認） 議会在カイバンダを大統領に選出
1962年	ベルギーより独立
1973年	クーデター（ハビヤリマナ少将が大統領就任）
1990年10月	ルワンダ愛国戦線(RPF)による北部侵攻
1993年8月	アルーシャ和平合意
1994年4月	ハビヤリマナ大統領暗殺事件発生をきっかけに「ルワンダ大虐殺」発生（～1994年6月）
1994年7月	ルワンダ愛国戦線(RPF)が全土を完全制圧、新政権樹立 （ビジムング大統領、カガメ副大統領就任）
2000年3月	ビジムング大統領辞任
2000年4月	カガメ副大統領が大統領に就任
2003年8月	複数候補者による初の大統領選挙でカガメ大統領当選
2003年9-10月	上院・下院議員選挙（与党 RPF の勝利）
2008年9月	下院議員選挙（与党 RPF の勝利）
2010年8月	カガメ大統領再選
2013年9月	下院議員選挙（与党 RPF の勝利）

外務省ホームページ「ルワンダ」 <<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/rwanda/data.html>> より

1 ルワンダと植民地政策

(1) 民族構成と首都

人口は約 900 万人。フツ (85%)、ツチ (14%)。首都はキガリ

(2) ドイツの植民地政策

(3) ベルギーの植民地政策の転換

(4) ルワンダの独立 (1962 年)

2 ウガンダにおけるツチ難民

(1) ツチ難民とウガンダの「同盟」化

(2) ルワンダ愛国戦線 (Rwandese Patriotic Front : RPF) とルワンダへの侵攻

(3) アルーシャ協定 (Arusha Accords)

3 ルワンダ危機

(1) ジェノサイド

(2) RPF のキガリ侵攻

(3) 国際社会の消極的対応

参考文献：

アニック・カイトジ『山刀で切り裂かれて：ルワンダ大虐殺で地獄を見た少女の告白』アスコム (2007 年)

レヴェリアン・ルラングア『ルワンダ大虐殺：世界で一番悲しい光景を見た青年の手記』マックス (2006 年)

フィリップ・ゴーレイヴィッチ『ジェノサイドの丘：ルワンダ虐殺の隠された真実』WAVE 出版 (2003 年)